

学校だより



北中魂

素朴・剛健・辛抱強い

令和2年度 第2号

令和2年 4月 9日 発行

発行者：佐野市立北中学校長

野城 久雄

御入学、おめでとうございます

本日、佐野市立北中学校の入学式を挙行し、新入生204名を迎えることができました。新入生の保護者の皆様や来賓として御臨席を予定していたPTA本部役員の皆様には、大変申し訳ありませんでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生みの簡素化した入学式にさせていただきました。時間短縮のために式中の校長式辞を割愛しましたので、本紙面においてその一部を掲載いたします。



204名の新入生の皆さん、保護者の皆様、御入学おめでとうございます。

北中学校は、創立73年を迎える歴史と伝統のある学校です。北中学校の一員であることに誇りをもち、この伝統を引き継いでいってほしいと思います。北中学校には、『北中魂』と呼ばれる3つの言葉があります。①「素朴」自分を飾ることなくありのままの個性を生かすこと。②「剛健」心身ともに強くたくましくなれるよう常に心と体を鍛えること。③「辛抱強い」辛いことにもくじけず最後まで粘り強く取り組むこと。これからの3年間、この3つの言葉を意識しながら、学校生活を送りましょう。

入学にあたり、皆さんに期待したいことがあります。それは、**様々なことを好きになってほしい**ということです。「好きこそ物の上手なれ」ということわざがあります。「誰でも好きでやっていることは一生懸命になり、それに関して進んで勉強したり工夫したりするので、自然に上達する。嫌々ながらやっても上達はしない。」という意味です。ゲームに夢中になっている人は、人に教えてもらわなくても自分で攻略法を調べ、簡単にマスターしてしまうことでしょう。つまり、**好きになることが積極的な自分をつくり、成長させることにつながります**。歴史上の人物について調べるのが好き、新しいことを知るのが好き、体を動かすことが好き等々。物事を好きになって行動に移すことで、人は様々なスキルを学んでいくものです。

中学校の3年間は、自分の良さを見つけ、それを伸ばして、自分らしく生き抜いていく土台を築く大切な時期です。これから北中で学んでいく皆さん一人一人が個性を十分に発揮するとともに、よい習慣を身に付け、将来、人から愛され・必要とされる人間になってくれることを願っています。

学校は、安全で安心して過ごせる場所であればなりません。「行ってきます。」と笑顔で家を出たら、「ただいま。」と笑顔で帰宅できるよう、北中の先生方が一丸となって、皆さんをサポートしていきます。

保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、今後とも北中の教育活動に対し、御理解・御協力くださいますようよろしくお願いいたします。

